

# 腋窩神経, 橈骨神経

## 腋窩神経 (N. axillaris)

**解剖**  
後上腕回旋動脈と共に、外側腋窩隙を通り肩の背面に出て、小円筋、三角筋に筋枝を与えた後に、外側前腕皮神経として皮膚の知覚を司る。

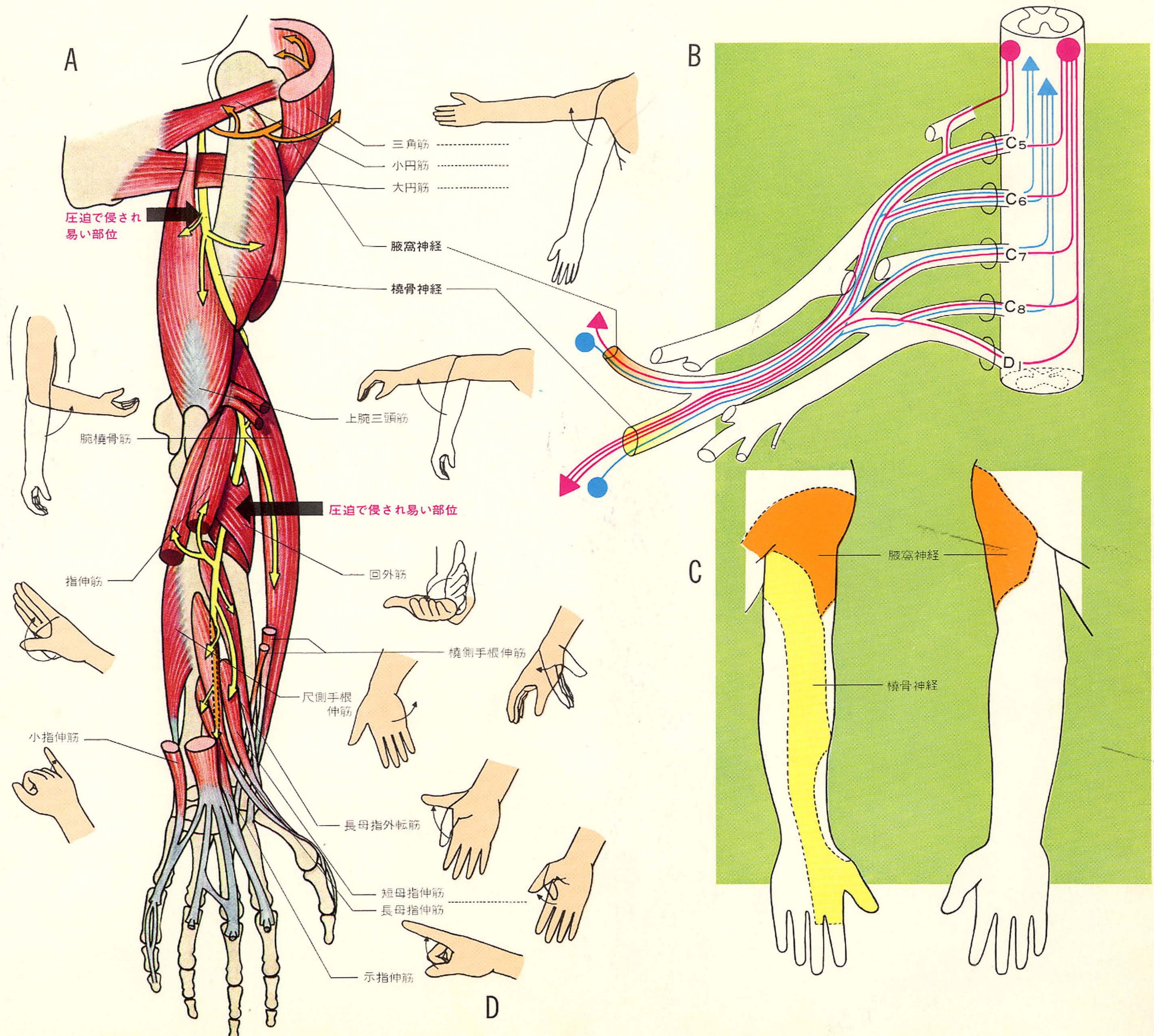
**機能**  
三角筋：腕外転、腕前方運動、内旋(前方部)；腕後方運動、外旋(後方部)。検査は患者は手を水平にのばし、検査者はこれを下方へ圧迫する。  
小円筋：腕の回外、内転、麻痺により腕の回外が困難になる。

## 橈骨神経 (N. radialis)

**解剖**  
本神経は腕神経叢の中で最も長いもので、上腕三頭筋の中を貫き、上腕骨の後面を斜めに下橈側へ下り、前下方へねじれて腕橈骨筋の起始部の下を通り、肘窩の橈側に現われる。肘窩で深淺の2枝に分れ、前腕の橈側を末梢へ走る。  
運動枝は上腕三頭筋、肘筋、腕橈骨筋などまた前腕への運動枝は深枝により伸筋回外筋を支配する、知覚枝は図Cの如くである。

**機能**  
上腕三頭筋：肘で前腕を伸展する。  
腕橈骨筋：前腕を回内回外の中立位で、肘で屈曲する。  
回外筋：前腕を回外させる。  
指伸筋：指の伸展、特に中手指関節で。  
長短橈側手根伸筋：手根の背屈、橈側屈曲。  
尺側手根伸筋：手根の背屈、尺側屈曲。  
長母指外転筋：手掌面で母指の外転。  
長母指伸筋：母指、特に末節の伸展。  
短母指伸筋：母指の基節の伸展。  
示指伸筋： } 同筋の伸展。  
小指伸筋： }

**臨床**  
橈骨神経は腋窩部の圧迫、上腕骨圧迫(長椅子などで)、肘窩の損傷(静注など)、回外筋の収縮(前腕の回外運動のくりかえし)、鉛中毒などで侵され易い。完全麻痺は腕の伸展麻痺が主であり、手も垂れ手(Wrist drop)を示す。



A

B

C

D

三角筋  
小円筋  
大円筋

腋窩神経  
橈骨神経

上腕三頭筋

腕橈骨筋

圧迫で侵され易い部位

指伸筋

回外筋

橈側手根伸筋

尺側手根伸筋

小指伸筋

長母指外転筋

短母指伸筋

長母指伸筋

示指伸筋

腋窩神経

橈骨神経